TOTO

施工・取扱説明書

工事店様へのお願い　この説明書は必ずお客様にお渡しください。

機能復旧ユニット

THE95・THE96

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 対象商品

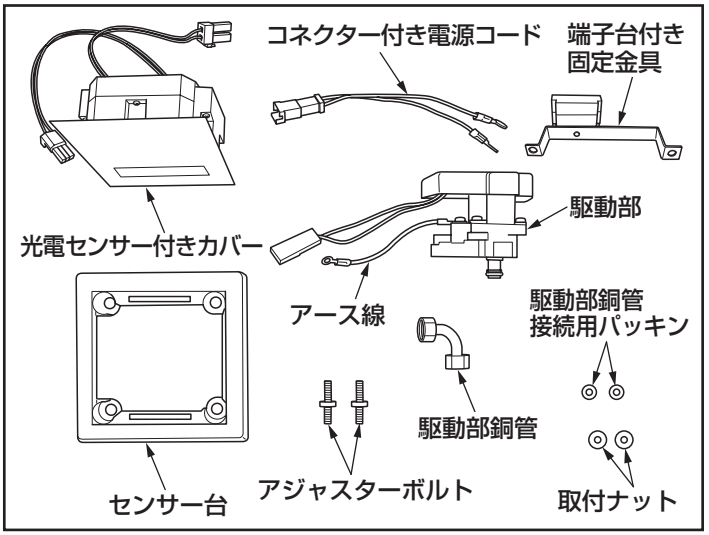
このユニットは、USシステムA型感知フラッシュバルブ(TEA95・X、TEA96・X)の機能復旧ユニットです。

◆補修対象部品は下表を参照してください。
◆商品品番を確認のうえ、商品と対応した機能復旧ユニットを使用してください。

補修対象部品	商品品番		機能復旧ユニット
54010(駆動部) または 58024S(光電センサー)	TEA95・X(ヘアライン仕上げ)	→	THE95
	TEA95・X #N1C(オフホワイト)	→	
	TEA96・X(ヘアライン仕上げ)	→	THE96
	TEA96・X #N1C(オフホワイト)	→	

2 部品の確認

次の部品があることを確認してください。



※THE95の場合です。(THE96はセンサー台が異なります)

別売品:TZ119
希望小売価格:500円(税抜)

(2014.7現在)

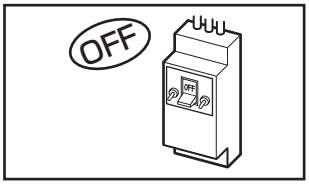
3 仕様

●交換後の主な仕様

項目	<交換前>	→ <交換後>
電源	AC100V 50/60Hz	
感知距離	器具前面より80cm以内	器具前面より80cm以内
前洗浄	感知後 約5秒 切替可	感知後 切/約2秒/約5秒 切替可
手動洗浄	なし	掃除用磁石(別売品:TZ119)での作動
設備保護洗浄	あり(24時間タイマー)	あり(24時間タイマー)
洗浄水量	4～5L／回に調節可能(手動)	使用状況に応じて2.5～5L／回(ファジー制御)

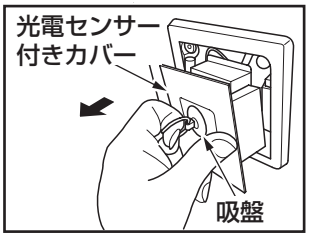
4-1 取替方法

1 元電源を切る

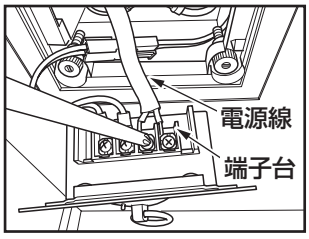


2 旧光電センサーおよびセンサー台の取り外し

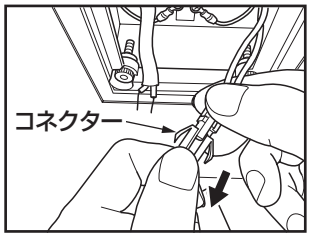
①吸盤で光電センサー付きカバーを引き出す。



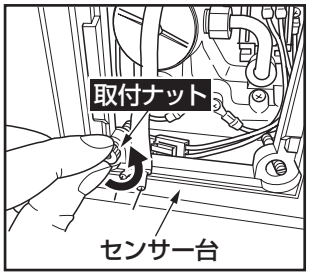
②端子台カバーを外し、端子台から電源線を外す。



③電磁弁コードのコネクターを外す。

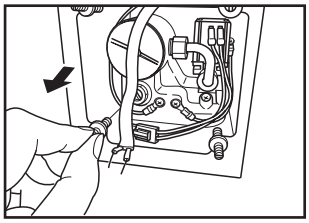


④取付ナットを外す。
※取付ナットの上2本は再度使用します。



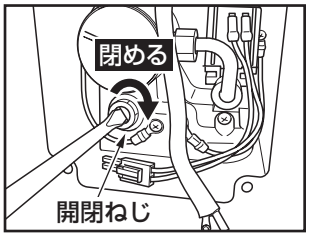
⑤センサー台を取り外す。
※あとで付属のアジャスターボルトと取付ナットに取り替えるため、下2本のアジャスターボルトと取付ナットを外し廃棄する。

アジャスターボルトと取付ナットを交換しないと光電センサー付きカバーと干渉することがあります。



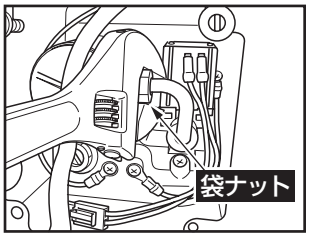
3 開閉ねじを閉める

開閉ねじを閉める。

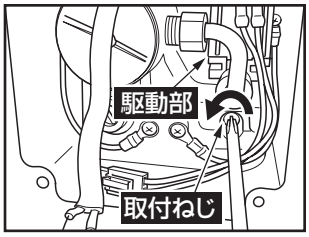


4 旧駆動部の取り外し

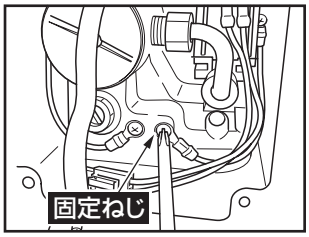
①本体側の袋ナットを取り外す。



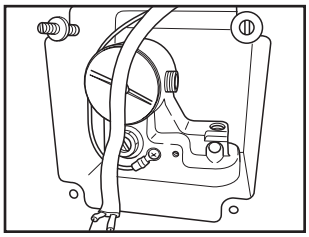
②駆動部の取付ねじを取り外す。
※取付ねじはあとから使用します。



③駆動部アース線の本体の固定ねじを外す。
※固定ねじはあとから使用します。

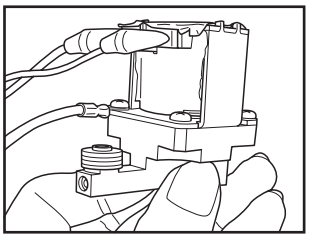


④駆動部を銅管ごと取り外す。



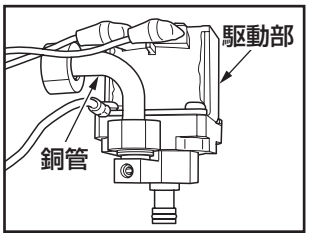
5 駆動部の取り付け

①新しい駆動部の樹脂カバーをいったん外す。
※駆動部を本体に固定後、使用します。

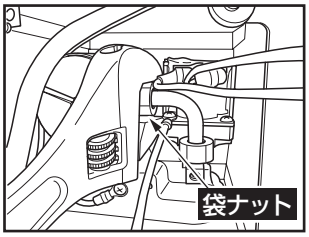


②新しい銅管・駆動部・パッキンを組み付ける。

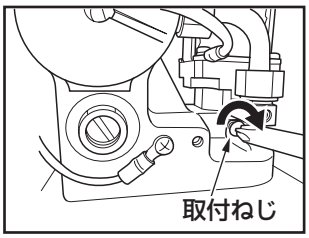
銅管は本体と接続できる方向に取り付けてください。



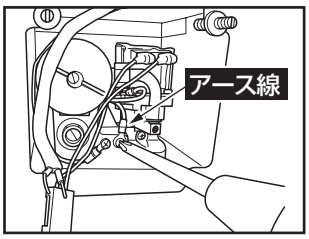
③駆動部を設置し、袋ナットを締め付ける。



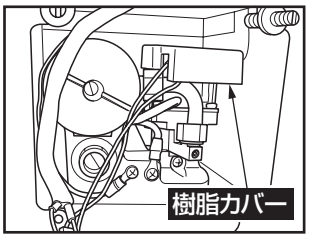
④駆動部の取付ねじを締め付け、固定する。
※取付ねじを締め付け過ぎると、駆動部が片寄り水漏れのおそれがありますのでご注意ください。



⑤駆動部からのアース線を本体にねじで固定する。

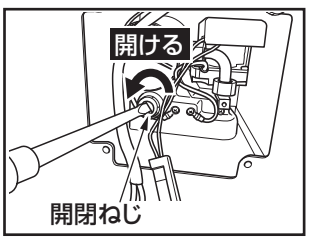


⑥駆動部上部に樹脂カバーを取り付ける。
※樹脂カバーが入りづらい場合は、軽くはまる程度にしてください。



6 開閉ねじを開ける

開閉ねじを開け、各部の水漏れの有無確認と「5-1 取り替え後の調節」の＜水勢の調節＞をします。



端子台付き固定金具を取り付けたあとは、＜水勢の調節＞ができなくなります。

裏面へつづく

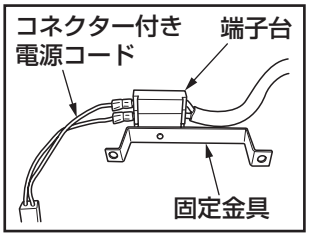
4-3

7 電源線の接続

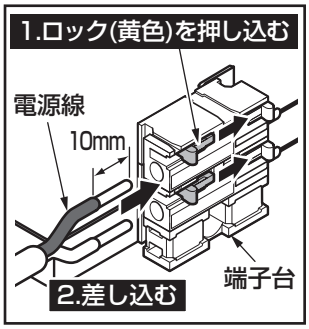
注　意

電気工事は関連する法令・法規に従って有資格者(電気工事士)が行ってください。

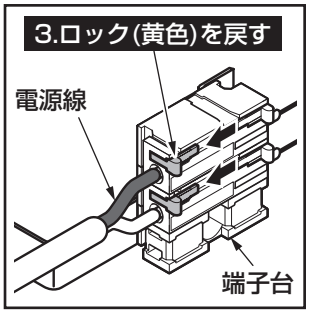
①固定金具に付いた端子台の左側から付属のコネクター付き電源コードの棒端子を端子台のロックを押し込み、端子穴の奥まで差し込み、ロックを戻す。
※棒端子が確実に差し込まれているか、一度引張り抜けないことを確認してください。



②電源線が単線の場合は被覆を10mmむき、端子台のロックを押し込み、端子穴に心線を奥まで確実に差し込む。
※より線の場合はパナソニック電工(株)製(WV2502)の絶縁被覆付棒型圧着端子(フル端子用1.25mm²～2mm²)をお使いください。

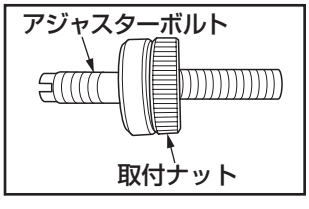


③端子台のロックを戻し、電源線が確実に差し込まれているか、一度引張り抜けないことを確認する。
※電源線のむき出し部が長く金属部が露出し接触しないようにしてください。



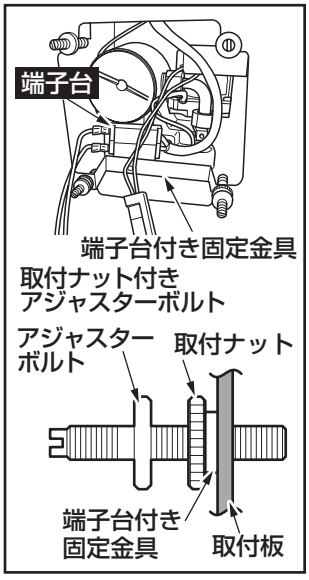
8 固定金具の取り付け

①付属の取付ナットを付属のアジャスターボルトにそれぞれ最後までねじ込む。



②固定金具を取付板に①の取付ナット付きアジャスターボルトにて取り付ける。
※端子台が左側になるように取り付けます。

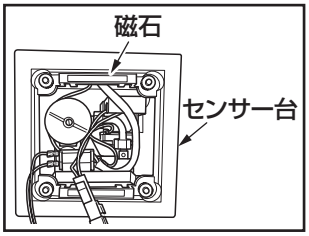
③取り付け後、アジャスターボルトを上2本と同じ位置まで調節し、取付ナットを締め付けて、端子台付き固定金具を固定してください。
※固定金具は他の位置には取り付けないでください。センサーが取り付けできないようになります。
※取り付け後、電源線やアース線と固定金具やセンサーが入りづらいことがありますので、指で押さえて調節してください。



4-4

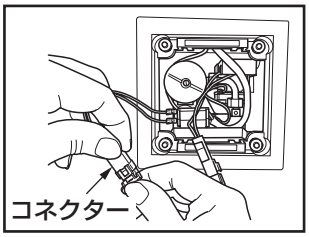
9 センサー台および光電センサーの取り付け

新しいセンサー台を取り付ける。
※磁石のある側を上側に設置してください。

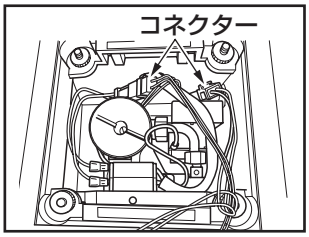


10 光電センサー付きカバーの取り付け

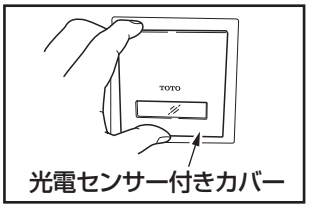
①光電センサーからの電源用コードと電磁弁用コードのそれぞれのコネクターを接続する。



②それぞれのコネクターを本体左上に納める。
※コードやコネクターが内部で干渉し、光電センサー付きカバーが浮き上がることがあるので、調節します。

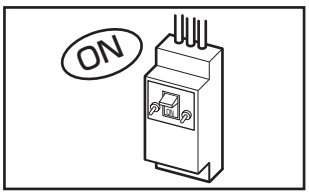


③光電センサー付きカバーを取り付ける。



11 電源の投入

電源を入れる。
※電源投入5秒以内に自動的に水が流れますが異常ではありません。

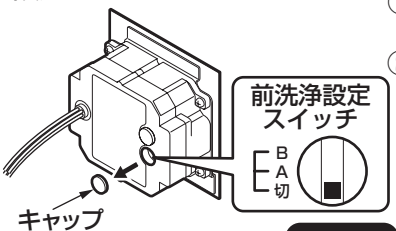


5-1 取り替え後の調節

1.前洗浄の設定

工場出荷時には、「切」の位置に設定しています。
前洗浄する場合はスイッチを「A」または「B」の位置に設定してください。

①前洗浄設定スイッチのキャップを外す。
②スイッチを切り替える。
「A」… 感知**約2秒後**に洗浄します。
「B」… 感知**約5秒後**に洗浄します。



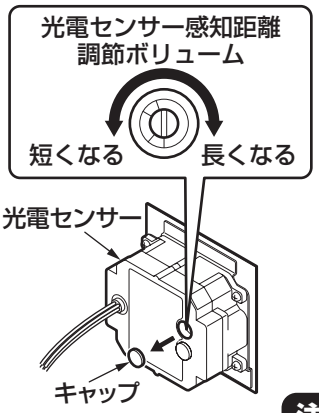
注　意

設定の際には精密ドライバーなどで無理な力を加えないように行ってください。

5-2

2.感知距離の調節

感知距離は、工場出荷時は「80cm」に調節していますので、通常の調節は不要です。
万一、通常の使用状態で感知しなかったり、対向壁などを感知してしまうときは、次の要領で調節してください。



①光電センサー感知距離調節ボリュームのキャップを外す。

②マイナスの精密ドライバーでボリュームを調節する。

感知しない（感知表示ランプが点灯しない）場合、**時計回り（長）**に回してください。

感知したまま（感知表示ランプが消灯しない）の場合、**反時計回り（短）**に回してください。

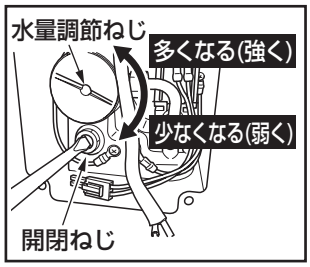
注　意

- **調節ボリュームは少しずつ回して調節してください。**
- **感知距離を必要以上に長くすると誤動作の原因になりますので、必要最小限にとどめてください。**
- **設定の際には精密ドライバーで無理な力を加えないように行ってください。**

3.水量・水勢の調節

<水量の調節>
水量が多いときには水量調節ねじを時計回りに、少ないときには反時計回りに回す。

<水勢の調節>
水勢が強いときには開閉ねじを時計回りに、弱いときには反時計回りに回す。



6-1 洗浄のしくみと使いかた

①感知

器具から約80cm以内に接近するとセンサーが感知します。

感知距離は着衣の色により異なります。
黒っぽい着衣では感知距離が短くなり、洗浄しない場合があります。
その場合はセンサーに手を数秒間かざして洗浄してください。

②本洗浄

使用後、小便器より離れると、小便器を本洗浄します。

6-2

前洗浄

感知開始後約2秒または5秒で小便器を洗浄します。

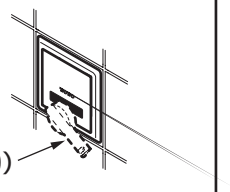
※前洗浄する場合は、

5-1 1.前洗浄の設定

をご参照ください。

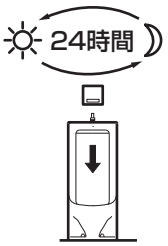
手動洗浄

掃除用磁石（別売品：TZ119）をセンサー窓に近づけると感知に関係なく小便器を洗浄します。



設備保護タイマー

長時間小便器を使用しないときは、24時間経過するごとに自動的に洗浄し、小便器排水管の乾きを防ぎます。



ファジー制御による洗浄について

●使用頻度にあわせて洗浄水量を自動調節①②

使用頻度を小便器の未使用時間で判断し、それぞれの場合に最適な洗浄パターンで洗浄。
未使用時間が短いときには頻繁に小便器を利用しているとみなし、少なめの水量。
未使用時間が長いときは、あまり利用されていないとみなし、しっかりと流れるようにふつうの水量だけ流します。

●小便量にあわせて洗浄水量を自動調節③④

小便器の使用時間から小便量を推定し、小便量の多少にあわせて、最適の量で洗浄。
使用時間が短いときは量が少ないとみなし、少なめの水量。
使用時間が長いときは量が多いとみなし、水をふつうの水量だけ流します。
※連続して5回少なめの水量を流したときは必ず6回目にふつうの水量を流します。